

技術検討会の決定事項について

このことについて、平成 13 年度検討の結果下記事項について決定されたので通知する。
なお、今後の業務遂行にあたり十分注意されたい。

記

1、小規模標準機場（上屋 A, B 型、吸水槽）

設計基準の諸々の改定、SI 単位への移行等に伴い見直し後の上屋（A・B 型）を統一とする。

吸水槽については、統一から外すが内幅 1.5m を確保する。なお統一の適用日は、平成 14 年 4 月 1 日とする。

* 図面・数量計算書・構造計算等の詳細については別途送付します

2、暗渠排水工（県の指針を従来どおり使用）

国の設計基準改訂（H12:11）と、県の「暗渠排水調査設計指針」の整合性を検討した結果、県の指針は国の基準を満たしており、設計にあたっては従来どおり県の指針（S 60:3:27 付）を使用し国の設計基準は参考とする

3、農地局指定のコンクリート二次製品（部材寸法、鉄筋量に変更無）

国の設計基準改訂（H13:12）、JIS の規制緩和、SI 単位への移行について全面的に見直しをしたが結果的に寸法、鉄筋量に変更は無
なお、上記諸元変更による適用日は、平成 14 年 4 月 1 日とする。

4、パイプライン工 φ300 mm 以下（H14 年度に継続検討し H15:4 から適用予定）

国の設計基準の最小埋設深が 0.9m から 0.6m に変更になったことから基礎工法、採用管種の検討をした。

しかし土質と基礎処理計算が未了のため継続となった

1, 2, 4 については添付資料なし。

3 については添付資料あり。ただし、設計書及び規格書については省略。

農地局指定のコンクリート二次製品

溝型柵渠、排水フリュームであっても指定型以外ものについては
H13:12 農林水産省農村振興局の 土地改良事業標準設計図面集
「鉄筋コンクリート二次製品」利用の手引き
により、設計されたい

農地局指定コンクリート二次製品の規格変更概要(H14;03;20)

農村計画課検査
農地整備課技術管理

変更理由

- 1, JISの改訂による
- 2, 農林水産省の「コンクリート二次製品」の一部改訂による
- 3, SI単位の変更による見直し

改訂の概要

- 1, JISの改訂による

主な項目	旧JIS	新JIS	備考
構成	品種毎に整理しそれぞれの規格値があった	無筋・鉄筋・PCコンクリートの三群に整理統合された	県は、排水フリュームと柵渠なので従来の個別整理とした
用語の変更	曲げ強さ 検査 呼び名 成形年月日	曲げ強度 最終検査 呼び 製造年月日	
混和剤の種類 の追加 2種に4種追加	2種類	6種類	
骨材種類と 規格値	特に明示無し	再生品骨材の使用を取り込み、他の骨材についても規格を明確にした	
プレキャスト コンクリート	自社工場生コンのみ使用可	生コン会社からの購入品でも可 他工場品の使用可	
水セメント比 の変更	最高値 50%	最高値 55%	
曲げ強度	0.05mmのひび割れ時の荷重値により決定	規格値の荷重によりひび割れが発生しなければ合格	
配筋検査	製品の破壊により確認	a非破壊(レイトゲン、高周波等) b破壊 c打設前確認 の3項目より選択	
製品表示方法	a 呼び名 b 製造業者名 c 製造工場名 d 成形年月日	a 呼び b 製造業者名 c 省略 d 製造年月日	

2, 農林水産省の「コンクリート二次製品」の一部改訂による

主な項目	旧	改定後	備考
構造計算上 の壁高	底版面から側壁の天端まで	(底版厚*1/2) +(底版面から天端まで)	土圧増となるが壁背面と土との摩擦により減
地下水の導入	無し	壁高*1/2迄地下水位を見込む 従って土圧の他に水圧も考慮	水圧の増
浮力の検討	無し	地下水による浮力の検討が追加 ウイプホルとアンダードレーンの併用 や空目地等で対応	県指定では影響なし
壁背面と 土との摩擦角	考慮しない	考慮検討する	構造物への荷重減
基礎地盤 支持力	検討無し	柵渠は検討無し 排水フリュームは検討	地区別検討の要有

上記3項目の改訂により、県指定の製品について検討したが、計算過程での違いはあったものの最終的には各製品の鉄筋量・部材寸法影響が出るような数値の違いはない。

農地局指定 コンクリート製品規格表

1:溝型柵渠

幅(mm)	高(mm)	幅(mm)	高(mm)	幅(mm)	高(mm)	幅(mm)	高(mm)
400	600	-	-	-	-	-	-
600	600	600	900	-	-	-	-
800	600	800	900	800	1,200	-	-
1,000	600	1,000	900	1,000	1,200	1,000	1,500
1,200	600	1,200	900	1,200	1,200	1,200	1,500
-	-	1,500	900	1,500	1,200	1,500	1,500
-	-	2,000	900	2,000	1,200	2,000	1,500
-	-	2,500	900	2,500	1,200	2,500	1,500
-	-	3,000	900	3,000	1,200	3,000	1,500

2:排水フリューム

幅(mm)	高(mm)	幅(mm)	高(mm)	幅(mm)	高(mm)	幅(mm)	高(mm)
400	400	400	600	-	-	-	-
-	-	600	600	600	900	-	-
-	-	800	600	800	900	-	-
-	-	-	-	1,000	900	-	-

上記規格以外の製品については

土地改良事業標準設計図面 「鉄筋コンクリート二次製品 利用の手引き」
平成13年12月 農林水産省農村振興局

により設計願います